

## 特定希少野生動植物ナゴヤダルマガエル保護管理事業計画の概要

### ◆ 保護管理事業計画とは ◆

- ・奈良県希少野生動植物の保護に関する条例 第30条に基づく計画
- ・特定希少野生動植物の保護管理事業を適正かつ効果的に実施するために策定

### ◆ 策定の経過 ◆

平成25年4月17日 計画策定調査業務委託契約（委託先：紀伊半島野生動物研究会）  
 平成26年4月15日 〃  
 平成27年1月30日 奈良県自然環境保全審議会 自然保護部会にて計画案の審議  
 4月24日 保護管理事業計画を策定公表

### ◆ ナゴヤダルマガエルとは ◆

- ・両生類カエル目アカガエル科トノサマガエル属
- ・頭胴長は雄50mm、雌60mm程度
- ・体の背面は黄褐色で、孤立した黒褐色の丸い斑紋を持つ
- ・近縁種のトノサマガエルと比較すると後肢が短く、多くが背中線を欠き、黒い斑点の数が少ない
- ・学名は「足の短いカエル」という意味で、近縁種のトノサマガエルより後肢の短いことにちなんでおり、和名も、体形が太く後肢が短いところがダルマに似ていることにちなんでいる
- ・個体の移動は少なく、行動範囲は狭い
- ・環境省第4次レッドリスト（2012年）では2番目に希少度の高い絶滅危惧ⅠB類（EN）に選定（両生類10種（内カエル目7種））
- ・奈良県レッドリスト（2005年）において絶滅寸前種に選定
- ・奈良県では2010年3月に「奈良県希少野生動植物の保護に関する条例」に基づき、特定希少野生動植物に指定

### ◆ 分布 ◆

- ・北陸・東海地方から近畿、中国地方の瀬戸内海側および四国北部
- ・本県では北部の低地（奈良盆地）およびその東に位置する大和高原で確認
- ・1980年代には奈良市奈良阪付近、北葛城郡広陵町や大和郡山市で確認された記録有り
- ・1990年以降に紀伊半島野生動物研究会が調査対象種とした後、奈良盆地や大和高原の4ヶ所で生息が確認された
- ・このことから、奈良盆地や大和高原の低湿地を中心に広く分布していたと考えられる
- ・2013年11月時点の生息地調査では奈良盆地北部における生息が確認できなくなっており、現在確認されている生息地は3カ所である

### ◆ 生活史 ◆

- ・3月後半：冬眠明け（水路で見られる）
  - ・4月～6月頃：繁殖期（生息地によって変わる）
  - ・11月～：冬眠（畦の土の中）
- ※4月後半～幼生、8月には子ガエル

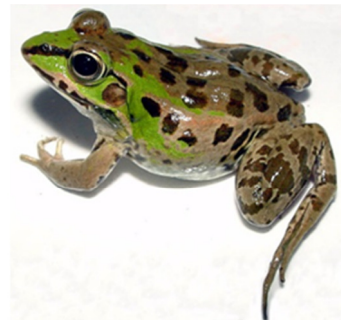


図1. ナゴヤダルマガエル



図2. 表土をめくり発見された冬眠個体

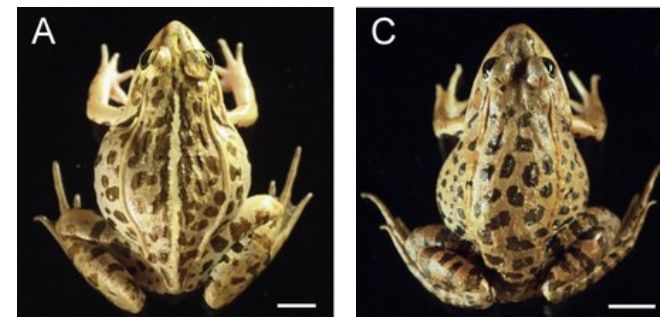


図3. 背面写真  
 左：トノサマガエル、右：ナゴヤダルマガエル

（出典：公益社団法人 日本動物学会ウェブサイト  
 トピックス■日本産トノサマガエル種群の分布変化と遺伝子浸透  
 小巻翔平（広島大学両生類研究施設・学振DC2）

### ◆ 保護管理事業計画 ◆

#### I. 生息地の現状と課題

- （現状）・耕作放棄地の増加や圃場整備に伴う水田環境の変化  
 ・生活雑排水や農薬散布による水田水の水質汚濁

- （課題）・生息地、個体数の減少

#### II. 保護計画の基本方針

- ・生息個体数のモニタリングの継続
- ・生息地環境の保存、休耕田の湿性化の検討
- ・生息域外保全の検討
- ・生息地の生態系の把握
- ・新たな生息個体群の探索
- ・地域住民への自然資産的価値の啓発

#### III. 事業の目標

1. 当面の目標（平成31(2019)年度達成目標）  
 ○野生絶滅の回避
2. 中期目標（平成35(2023)年度達成目標）  
 ○生息地でのモニタリングおよび生息域外保全の検討
3. 長期目標（以降の目標）  
 ○野生生息地の拡大とナゴヤダルマガエルとの共存を目指した地域環境づくり

#### IV. 事業の区域

県内の本種の生息する地域および新たな生息地  
 （主として奈良盆地と大和高原及び隣接する湿性環境）

#### V. 事業の内容

1. 当面の事業（平成31(2019)年度達成目標）  
 ○野生絶滅の回避
  - ・個体数の多いエリアの個体数のモニタリングの継続
  - ・繁殖状況と生息域の集散についての把握
  - ・幼生の増殖放流と近接地域での生息域外保全の検討
  - ・ナゴヤダルマガエルの遺伝的調査の実施等
2. 中期事業（平成35(2023)年度達成目標）  
 ○生息地でのモニタリングおよび生息域外保全の検討
  - ・生息地の保全
  - ・安定した湿性環境の管理方法の検討
  - ・近接地域での生息域外保全の実施
  - ・安定した湿性環境の創出と保持
  - ・奈良県内の生息域外における湿性環境の現況調査
3. 長期事業（以降の目標）  
 ○野生生息地の拡大とナゴヤダルマガエルとの共存を目指した地域環境づくり
  - ・ナゴヤダルマガエルの野生生息地の拡大
  - ・人工繁殖による幼生の安定供給
  - ・奈良県産ナゴヤダルマガエルの捕獲の防止
  - ・地域住民への保護啓発活動の強化